

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	神戸動植物環境専門学校
設置者名	学校法人神戸学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	生命科学科 ドッグスペシャリスト コース	夜・ 通信	936	80	
	生命科学科 スモールアニマル コース	夜・ 通信	1,044	80	
	生命科学科 アクアスペシャリスト コース	夜・ 通信	1,008	80	
	生命科学科 ワイルドアニマルコー ス	夜・ 通信	972	80	
	生命科学科 トリミングサロン起業 家コース	夜・ 通信	972	80	
	生命科学科 トリミングゼミ	夜・ 通信	1,188	80	
	生命科学科 ショップゼミ	夜・ 通信	1,116	80	
	生命科学科 水族館ゼミ	夜・ 通信	1,116	80	
	生命科学科 トレーニングケアゼミ	夜・ 通信	1,116	80	
	生命科学科 動物園ゼミ	夜・ 通信	1,116	80	
	生命科学科 野生生物ゼミ	夜・ 通信	1,116	80	
	生命科学科 トリミングマネジメント ゼミ	夜・ 通信	1,224	80	
	動物看護師学科	夜・ 通信	3,420	240	
2年制の生命科学科については、1年次はコースに、2年次はゼミに所属する。 1年次の各コースから、2年次に進学できるゼミは以下のように決まっている。					

<p>1年次 ドッグスペシャリストコース ⇒2年次 トリミングゼミ、トレーニングケアゼミ、ショップゼミ</p> <p>1年次 トリミング起業コース ⇒2年次 トリミングマネジメントゼミ</p> <p>1年次 スモールアニマルコース ⇒2年次 ショップゼミ、トレーニングケアゼミ、看護ゼミ、動物園ゼミ、野生生物ゼミ</p> <p>1年次 アクアスペシャリストコース ⇒2年次 ショップゼミ、水族館ゼミ、野生生物ゼミ、動物園ゼミ</p> <p>1年次 ワイルドアニマルコース ⇒2年次 ショップゼミ、水族館ゼミ、動物園ゼミ、野生生物ゼミ</p> <p>3年制の動物看護師学科については3年間の一貫した教育課程を履修する。 ⇒2023年度新設学科であり、現時点では3年生は在席していない。</p>
---

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

[http://www.kap.ac.jp/information\\_disclosure/](http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 研究科
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	神戸動植物環境専門学校
設置者名	学校法人神戸学園

1. 理事(役員)名簿の公表方法

[http://www.kap.ac.jp/information\\_disclosure/](http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	企業(株式会社)役員	2022/11/1～ 2024/10/31	企画
非常勤	企業(株式会社)管理職	2022/11/1～ 2024/10/31	経理・財務
(備考)			

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神戸動植物環境専門学校
設置者名	学校法人神戸学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
【作成方法】	
各授業科目について毎年度、学内会議の中で授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各授業を担当する教員が、シラバスの作成を行っている。	
学内統一様式を用いてシラバス作成を行っている。シラバスには授業科目名、単位数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画（各回の授業プラン）、成績評価方法、教科書及び参考書等を記載する。	
【作成・公開時期】	
翌年度の講義予定は1月～2月に担当教員が作成し、3月の学内会議で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。その後、3月下旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。	
授業計画書の公表方法	<a href="http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/">http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。成績評価は、各科目100点満点とし、学科試験(80%)と出席状況(20%)を鑑み、教科ごとに総合的に評価する。試験は各コース・ゼミで定めた方法(筆記試験、実技試験、レポート)により行う。評価基準はA:100-90点、B:89-80点、C:79-70点、D:69-60点、E:59点以下とし、「D」以上を合格とする。	
Eは再試験を実施し、60点以上の成績を収めた場合、評価は「D」なり、単位取得となる。なお、再試験で60点未満の場合は、単位認定課題の対象となる。単位認定課題を実施し、所定の成績を収めたものには評価「D」として単位を付与する。	
なお、学生の出席率が85%以下の場合は個別指導を実施し、出席率を85%以上に補填したうえで、試験を実施する。これに該当した学生の評価も一律「D」となる。	
上記の規定は学生便覧として学生に配布・周知しており、科目ごとの成績評価の方法・基準は公開しているシラバスにも記載されている。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則の細目において、GPA (Grade Point Average)を導入し、学内の成績評価として使用している。</p> <p>GPAは生徒の履修した1授業科目あたりの平均成績を指す。学業成績は、授業科目ごとに行う試験(定期試験、実技試験等)と出席率によって評価される。当校では各授業の評価を100点満点を基準として、60点以上を合格としている。</p> <p>合格者の中でも、評価点数によりA:100-90点、B:89-80点、C:79-70点、D:69-60点、E:59点以下とし、成績が通知される。各授業の成績評価を既定の数値に置き換え、1授業あたりの平均成績を算出する。各成績はA(4点)、B(3点)、C(2点)、D(1点)、E(0点)に換算する。GPAは(Aの授業数×4+Bの授業数×3+Cの授業数×2+Dの授業数×1)の合計を、各生徒が履修済みの不合格を含めた総授業数で除した数値として求めることによって算出する。GPAはコース・ゼミごとに算出する。</p> <p>成績評価方法については、入学時オリエンテーションで入学生徒等に通知する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/">http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を中学校における教育の基礎の上に工業高等課程を設置し、「動物にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この基本理念に基づき、豊かな人間性や動物倫理観、社会性を育成することが本学の教育目標であり、下記に示す資質および技能を修得していることを卒業の条件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門分野の基本的な知識・技術を習得し、科学的な動物や環境の倫理観を有す。</li> <li>2. 自律的に思考し、物事に取り組むための自己管理能力を身につけている。</li> <li>3. 論理的思考力と自己表現力を身につけており、柔軟なコミュニケーションができる。</li> </ol> <p>本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与し、バイオ学科及び生命科学科の修了者には専門士(工業専門課程)の称号を与える。詳細については、学則細目、学生生活の手引き等に記載している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	オリエンテーション時に配布 <a href="http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/">http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表(専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	神戸動植物環境専門学校
設置者名	学校法人神戸学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/">http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/">http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/</a>
財産目録	<a href="http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/">http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/</a>
事業報告書	<a href="http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/">http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/</a>
監事による監査報告(書)	<a href="http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/">http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		動植物専門課程	生命科学科 ドッグスペシャリストコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,232単位時間/単位	612 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	468 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位
			1,080単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
600人の内数		49人	1人	9人	9人	18人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
【作成方法】 各授業科目について毎年度、生命科学科の学内会議の中で授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各授業を担当する教員が、シラバスの作成を行っている。 シラバスには授業科目名、単位数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載する。学内統一様式でシラバス作成を行っている。
【作成・公開時期】 翌年度の講義予定は1月～2月に担当教員が作成し、3月の学内会議で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。その後、3月下旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p>学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各コース・ゼミで定める授業科目の試験（筆記試験、実技試験、レポート）により成績評価を行っている。成績評価に関しては、各科目 100 点満点とし、学科試験（80%）と出席状況（20%）を鑑み、教科ごとに総合的に評価する。評価基準はA：100-90点、B：89-80点、C：79-70点、D：69-60点、E：59点以下とし、「D」以上を合格とする。</p> <p>Eは再試験を実施し、60点以上の成績を収めた場合、評価は「D」なり、単位取得となる。なお、再試験で60点未満の場合は、単位認定課題の対象となる。単位認定課題を実施し、所定の成績を収めたものには評価「D」として単位を付与する。</p> <p>なお、学生の出席率が85%以下の場合は個別指導を実施し、出席率を85%以上に補填したうえで、試験を実施する。これに該当した学生の評価も、一律「D」となる。上記の規定は学生便覧として学生に配布・周知しており、科目ごとの成績評価の方法・基準は公開しているシラバスにも記載されている。</p>
---

卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を中学校における教育の基礎の上に工業高等課程を設置し、「動物にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この基本理念に基づき、豊かな人間性や動物倫理観、社会性を育成することが本学の教育目標であり、下記に示す資質および技能を修得していることを卒業の条件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門分野の基本的な知識・技術を習得し、科学的な動物や環境の倫理観を有す。</li> <li>2. 自律的に思考し、物事に取り組むための自己管理能力を身につけている。</li> <li>3. 論理的思考力と自己表現力を身につけており、柔軟なコミュニケーションができる。</li> </ol> <p>本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与し、バイオ学科及び生命科学科の修了者には専門士（工業専門課程）の称号を与える。詳細については、学則細目、学生生活の手引き等に記載している。</p>
--

学修支援等

<p>(概要)</p> <p>担当制により月毎に個別面談を行うことで、適性を把握し、就職指導を実施している。また、研修旅行や特別講義、インターンを通じて業界人との交流や現場を在学中に積極的に経験させることで、学生の将来到達すべき人材を理解させるよう教育指導を行っている。また、目指す業界で必要とされる資格を計画的に取得ができるよう取りまわせている。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1年次前期から学生指導を通じて求人票、就職受験記録などを閲覧し就職に取り組む姿勢などを学んでいる。授業のうち座学では面接対策、ES・履歴書作成指導を行い、実技では現場で必要なスキルを身につけさせている。クラス担当・キャリアサポートとで学生面談を行い就職したい企業、希望職種などのヒアリングを行い、学生の希望、適性に沿った就職指導を行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>愛玩動物飼養管理士 サービス接遇検定 トリミングマスターライセンス ホリスティックケア・カウンセラー 損害保険募集人資格 他</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>1年生対象のコースのため、卒業者数、進学者数、就職者数、主な就職、業界の記載はしない</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58人	2人	3.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学期の最初の段階で面談を行い、休み等が重なる場合に面談等を実施。また、金銭的な問題の場合は奨学金担当による説明も実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業分野	動植物専門課程	生命科学科 スモールアニマルコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,232単位時間／単位	612 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	540 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位
			1,152単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
600人の内数	25人	1人	7人	14人	21人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>【作成方法】 各授業科目について毎年度、生命科学科の学内会議の中で授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各授業を担当する教員が、シラバスの作成を行っている。</p>

<p>シラバスには授業科目名、単位数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画（各回の授業プラン）、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載する。学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p>【作成・公開時期】</p> <p>翌年度の講義予定は1月～2月に担当教員が作成し、3月の学内会議で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。その後、3月下旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p>
<p>(概要)</p> <p>学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各コース・ゼミで定める授業科目の試験（筆記試験、実技試験、レポート）により成績評価を行っている。成績評価に関しては、各科目100点満点とし、学科試験（80%）と出席状況（20%）を鑑み、教科ごとに総合的に評価する。評価基準はA：100-90点、B：89-80点、C：79-70点、D：69-60点、E：59点以下とし、「D」以上を合格とする。</p> <p>Eは再試験を実施し、60点以上の成績を収めた場合、評価は「D」なり、単位取得となる。なお、再試験で60点未満の場合は、単位認定課題の対象となる。単位認定課題を実施し、所定の成績を収めたものには評価「D」として単位を付与する。</p> <p>なお、学生の出席率が85%以下の場合は個別指導を実施し、出席率を85%以上に補填したうえで、試験を実施する。これに該当した学生の評価も、一律「D」となる。上記の規定は学生便覧として学生に配布・周知しており、科目ごとの成績評価の方法・基準は公開しているシラバスにも記載されている。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を中学校における教育の基礎の上に工業高等課程を設置し、「動物にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この基本理念に基づき、豊かな人間性や動物倫理観、社会性を育成することが本学の教育目標であり、下記に示す資質および技能を修得していることを卒業の条件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門分野の基本的な知識・技術を習得し、科学的な動物や環境の倫理観を有す。</li> <li>2. 自律的に思考し、物事に取り組むための自己管理能力を身につけている。</li> <li>3. 論理的思考力と自己表現力を身につけており、柔軟なコミュニケーションができる。</li> </ol> <p>本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与し、バイオ学科及び生命科学科の修了者には専門士（工業専門課程）の称号を与える。詳細については、学則細目、学生生活の手引き等に記載している。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>担当制により月毎に個別面談を行うことで、適性を把握し、就職指導を実施している。また、研修旅行や特別講義、インターンを通じて業界人との交流や現場を在学中に積極的に経験させることで、学生の将来到達すべき人材を理解させるよう教育指導を行っている。また、目指す業界で必要とされる資格を計画的に取得ができるよう取りまわせている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 1年次前期から学生指導を通じて求人票、就職受験記録などを閲覧し就職に取り組む姿勢などを学んでいる。授業のうち座学では面接対策、ES・履歴書作成指導を行い、実技では現場で必要なスキルを身につけさせている。クラス担当・キャリアサポートとで学生面談を行い就職したい企業、希望職種などのヒアリングを行い、学生の希望、適性に沿った就職指導を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 愛玩動物飼養管理士 サービス接遇検定 ハンドリングマスターライセンス ホリスティックケア・カウンセラー 他			
(備考)(任意記載事項) 1年生対象のコースのため、卒業生数、進学者数、就職者数、主な就職、業界の記載はしない			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	7人	11.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、金銭的理由、加療		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学期の最初の段階で面談を行い、休み等が重なる場合に面談等を実施。また、金銭的な問題の場合は奨学金担当による説明も実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業分野	動植物専門課程	生命科学科 アクアスペシャリスト コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,232単位時間/単位	828 単位時間/ 単位	72 単位時間/ 単位	216 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位
			1,116単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		

600人の内数	51人	0人	8人	10人	18人
---------	-----	----	----	-----	-----

<p>カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)</p> <p>(概要)</p> <p><b>【作成方法】</b> 各授業科目について毎年度、生命科学科の学内会議の中で授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各授業を担当する教員が、シラバスの作成を行っている。 シラバスには授業科目名、単位数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画（各回の授業プラン）、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載する。学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p><b>【作成・公開時期】</b> 翌年度の講義予定は1月～2月に担当教員が作成し、3月の学内会議で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。その後、3月下旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各コース・ゼミで定める授業科目の試験（筆記試験、実技試験、レポート）により成績評価を行っている。成績評価に関しては、各科目 100 点満点とし、学科試験（80%）と出席状況（20%）を鑑み、教科ごとに総合的に評価する。評価基準はA：100-90点、B：89-80点、C：79-70点、D：69-60点、E：59点以下とし、「D」以上を合格とする。 Eは再試験を実施し、60点以上の成績を収めた場合、評価は「D」なり、単位取得となる。なお、再試験で60点未満の場合は、単位認定課題の対象となる。単位認定課題を実施し、所定の成績を収めたものには評価「D」として単位を付与する。 なお、学生の出席率が85%以下の場合は個別指導を実施し、出席率を85%以上に補填したうえで、試験を実施する。これに該当した学生の評価も、一律「D」となる。上記の規定は学生便覧として学生に配布・周知しており、科目ごとの成績評価の方法・基準は公開しているシラバスにも記載されている。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を中学校における教育の基礎の上に工業高等課程を設置し、「動物にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この基本理念に基づき、豊かな人間性や動物倫理観、社会性を育成することが本学の教育目標であり、下記に示す資質および技能を修得していることを卒業の条件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門分野の基本的な知識・技術を習得し、科学的な動物や環境の倫理観を有す。</li> <li>2. 自律的に思考し、物事に取り組むための自己管理能力を身につけている。</li> <li>3. 論理的思考力と自己表現力を身につけており、柔軟なコミュニケーションができる。</li> </ol> <p>本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与し、バイオ学科及び生命科学科の修了者には専門士（工業専門課程）の称号を与える。詳細については、学則細目、学生生活の手引き等に記載している。</p>

学修支援等 (概要) 担当制により月毎に個別面談を行うことで、適性を把握し、就職指導を実施している。また、研修旅行や特別講義、インターンを通じて業界人との交流や現場を在学中に積極的に経験させることで、学生の将来到達すべき人材を理解させるよう教育指導を行っている。また、目指す業界で必要とされる資格を計画的に取得ができるよう取り組ませている。
--

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 1年次前期から学生指導を通じて求人票、就職受験記録などを閲覧し就職に取り組む姿勢などを学んでいる。授業のうち座学では面接対策、ES・履歴書作成指導を行い、実技では現場で必要なスキルを身につけさせている。クラス担当・キャリアサポートとで学生面談を行い就職したい企業、希望職種などのヒアリングを行い、学生の希望、適性に沿った就職指導を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 潜水士、PADIダイビングオープンウォーターダイバー、愛玩動物飼養管理士、サービス接遇検定 他			
(備考)(任意記載事項) 1年生対象のコースのため、卒業生数、進学者数、就職者数、主な就職、業界の記載はしない			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57人	4人	7.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、加療		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学期の最初の段階で面談を行い、休み等が重なる場合に面談等を実施。また、金銭的な問題の場合は奨学金担当による説明も実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業分野	動植物専門課程	生命科学科 ワイルドアニマルコース	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,232単位時間／単位	612	72	396	0	0
			単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			1,080単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
600人の内数	48人	0人	10人	10人	20人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>【作成方法】</p> <p>各授業科目について毎年度、生命科学科の学内会議の中で授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各授業を担当する教員が、シラバスの作成を行っている。</p> <p>シラバスには授業科目名、単位数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載する。学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p>【作成・公開時期】</p> <p>翌年度の講義予定は1月～2月に担当教員が作成し、3月の学内会議で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。その後、3月下旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各コース・ゼミで定める授業科目の試験(筆記試験、実技試験、レポート)により成績評価を行っている。成績評価に関しては、各科目100点満点とし、学科試験(80%)と出席状況(20%)を鑑み、教科ごとに総合的に評価する。評価基準はA: 100-90点、B: 89-80点、C: 79-70点、D: 69-60点、E: 59点以下とし、「D」以上を合格とする。</p> <p>Eは再試験を実施し、60点以上の成績を収めた場合、評価は「D」なり、単位取得となる。なお、再試験で60点未満の場合は、単位認定課題の対象となる。単位認定課題を実施し、所定の成績を収めたものには評価「D」として単位を付与する。</p> <p>なお、学生の出席率が85%以下の場合は個別指導を実施し、出席率を85%以上に補填したうえで、試験を実施する。これに該当した学生の評価も、一律「D」となる。上記の規定は学生便覧として学生に配布・周知しており、科目ごとの成績評価の方法・基準は公開しているシラバスにも記載されている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を中学校における教育の基礎の上に工業高等課程を設置し、「動物にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この基本理念に基づき、豊かな人間性や動物倫理観、社会性を育成することが本学の教育目標であり、下記に示す資質および技能を修得していることを卒業の条件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門分野の基本的な知識・技術を習得し、科学的な動物や環境の倫理観を有す。</li> <li>2. 自律的に思考し、物事に取り組むための自己管理能力を身につけている。</li> </ol>

<p>3. 論理的思考力と自己表現力を身につけており、柔軟なコミュニケーションができる。</p> <p>本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与し、バイオ学科及び生命科学科の修了者には専門士（工業専門課程）の称号を与える。詳細については、学則細目、学生生活の手引き等に記載している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>担当制により月毎に個別面談を行うことで、適性を把握し、就職指導を実施している。また、研修旅行や特別講義、インターンを通じて業界人との交流や現場を在学中に積極的に経験させることで、学生の将来到達すべき人材を理解させるよう教育指導を行っている。また、目指す業界で必要とされる資格を計画的に取得ができるよう取り組ませている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
1年次前期から学生指導を通じて求人票、就職受験記録などを閲覧し就職に取り組む姿勢などを学んでいる。授業のうち座学では面接対策、ES・履歴書作成指導を行い、実技では現場で必要なスキルを身につけさせている。クラス担当・キャリアサポートとで学生面談を行い就職したい企業、希望職種などのヒアリングを行い、学生の希望、適性に沿った就職指導を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
生物分類技能検定4級、愛玩動物飼養管理士 サービス接遇検定 損害保険募集人資格 ホリスティックケア・カウンセラー ベーシックマスターライセンス 他			
(備考)(任意記載事項)			
1年生対象のコースのため、卒業生数、進学者数、就職者数、主な就職、業界の記載はしない			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66人	10人	15.2%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、加療、金銭的事情		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
学期の最初の段階で面談を行い、休み等が重なる場合に面談等を実施。また、金銭的な問題の場合は奨学金担当による説明も実施。		

--

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		動植物専門課程	生命科学科 トリミングサロン起業 コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		2,232単位時間／単位	504 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	612 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位
			1,116単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
600人の内数		2人	0人	6人	11人	17人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p><b>【作成方法】</b> 各授業科目について毎年度、生命科学科の学内会議の中で授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各授業を担当する教員が、シラバスの作成を行っている。 シラバスには授業科目名、単位数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画（各回の授業プラン）、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載する。学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p><b>【作成・公開時期】</b> 翌年度の講義予定は1月～2月に担当教員が作成し、3月の学内会議で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。その後、3月下旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各コース・ゼミで定める授業科目の試験（筆記試験、実技試験、レポート）により成績評価を行っている。成績評価に関しては、各科目100点満点とし、学科試験（80%）と出席状況（20%）を鑑み、教科ごとに総合的に評価する。評価基準はA：100-90点、B：89-80点、C：79-70点、D：69-60点、E：59点以下とし、「D」以上を合格とする。 Eは再試験を実施し、60点以上の成績を収めた場合、評価は「D」なり、単位取得となる。なお、再試験で60点未満の場合は、単位認定課題の対象となる。単位認定課題を実施し、所定の成績を収めたものには評価「D」として単位を付与する。 なお、学生の出席率が85%以下の場合は個別指導を実施し、出席率を85%以上に補填したうえで、試験を実施する。これに該当した学生の評価も、一律「D」となる。上記の規定は学生便覧として学生に配布・周知しており、科目ごとの成績評価の方法・基準は公開しているシラバスにも記載されている。</p>
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を中学校における教育の基礎の上に工業高等課程を設置し、「動物にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この基本理念に基づき、豊かな人間性や動物倫理観、社会性を育成することが本学の教育目標であり、下記に示す資質および技能を修得していることを卒業の条件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門分野の基本的な知識・技術を習得し、科学的な動物や環境の倫理観を有す。</li> <li>2. 自律的に思考し、物事に取り組むための自己管理能力を身につけている。</li> <li>3. 論理的思考力と自己表現力を身につけており、柔軟なコミュニケーションができる。</li> </ol> <p>本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与し、バイオ学科及び生命科学科の修了者には専門士（工業専門課程）の称号を与える。詳細については、学則細目、学生生活の手引き等に記載している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>担当制により月毎に個別面談を行うことで、適性を把握し、就職指導を実施している。また、研修旅行や特別講義、インターンを通じて業界人との交流や現場を在学中に積極的に経験させることで、学生の将来到達すべき人材を理解させるよう教育指導を行っている。また、目指す業界で必要とされる資格を計画的に取得ができるよう取りまとめている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
1年次前期から学生指導を通じて求人票、就職受験記録などを閲覧し就職に取り組む姿勢などを学んでいる。授業のうち座学では面接対策、ES・履歴書作成指導を行い、実技では現場で必要なスキルを身につけさせている。クラス担当・キャリアサポートとで学生面談を行い就職したい企業、希望職種などのヒアリングを行い、学生の希望、適性に沿った就職指導を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
愛玩動物飼養管理士 サービス接遇検定 認定動物看護師資格 ベーシックマスターライセンス 他			
(備考)(任意記載事項)			
1年生対象のコースのため、卒業生数、進学者数、就職者数、主な就職、業界の記載はしない			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	1人	20.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学期の最初の段階で面談を行い、休み等が重なる場合に面談等を実施。また、金銭的な問題の場合は奨学金担当による説明も実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業分野	動植物専門課程	生命科学科 トリミングゼミ	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,232単位時間／単位	252 単位時間/ 単位	936 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位
			1,188単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
600人の内数	33人	0人	3人	14人	17人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 【作成方法】 各授業科目について毎年度、生命科学科の学内会議の中で授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各授業を担当する教員が、シラバスの作成を行っている。 シラバスには授業科目名、単位数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載する。学内統一様式でシラバス作成を行っている。 【作成・公開時期】 翌年度の講義予定は1月～2月に担当教員が作成し、3月の学内会議で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。その後、3月下旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。
成績評価の基準・方法
(概要) 学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各コース・ゼミで定める授業科目の試験(筆記試験、実技試験、レポート)により成績評価を行っている。成績評価に関しては、各科目100点満点とし、学科試験(80%)と出席状況(20%)を鑑み、教科ごとに総合的に評価する。評価基準はA:100-90点、B:89-80点、C:79-70点、D:69-60点、E:59点以下とし、「D」以上を合格とする。

Eは再試験を実施し、60点以上の成績を収めた場合、評価は「D」なり、単位取得となる。なお、再試験で60点未満の場合は、単位認定課題の対象となる。単位認定課題を実施し、所定の成績を収めたものには評価「D」として単位を付与する。  
 なお、学生の出席率が85%以下の場合は個別指導を実施し、出席率を85%以上に補填したうえで、試験を実施する。これに該当した学生の評価も、一律「D」となる。上記の規定は学生便覧として学生に配布・周知しており、科目ごとの成績評価の方法・基準は公開しているシラバスにも記載されている。

卒業・進級の認定基準

(概要)  
 神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を中学校における教育の基礎の上に工業高等課程を設置し、「動物にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この基本理念に基づき、豊かな人間性や動物倫理観、社会性を育成することが本学の教育目標であり、下記に示す資質および技能を修得していることを卒業の条件とする。

1. 専門分野の基本的な知識・技術を習得し、科学的な動物や環境の倫理観を有す。
2. 自律的に思考し、物事に取り組むための自己管理能力を身につけている。
3. 論理的思考力と自己表現力を身につけており、柔軟なコミュニケーションができる。

本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与し、バイオ学科及び生命科学科の修了者には専門士（工業専門課程）の称号を与える。詳細については、学則細目、学生生活の手引き等に記載している。

学修支援等

(概要)  
 担当制により月毎に個別面談を行うことで、適性を把握し、就職指導を実施している。また、研修旅行や特別講義、インターンを通じて業界人との交流や現場を在学中に積極的に経験させることで、学生の将来到達すべき人材を理解させるよう教育指導を行っている。また、目指す業界で必要とされる資格を計画的に取得ができるよう取りまわせている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	0人 ( 0%)	21人 ( 80.8%)	5人 ( 19.2%)
(主な就職、業界等) 動植物業界(トリミングサロン ペットショップ 動物病院 ふれあい施設 動物保護施設 他)			
(就職指導内容) 1年次前期から学生指導を通じて求人票、就職受験記録などを閲覧し就職に取り組む姿勢などを学んでいる。授業のうち座学では面接対策、ES・履歴書作成指導を行い、実技では現場で必要なスキルを身につけさせている。クラス担当・キャリアサポートとで学生面談を行い就職したい企業、希望職種などのヒアリングを行い、学生の希望、適性に沿った就職指導を行っている。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 愛玩動物飼養管理士 サービス接遇検定 トリミングマスターライセンス ホリスティックケア・ カウンセラー 損害保険募集人資格 他
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学期の最初の段階で面談を行い、休み等が重なる場合に面談等を実施。また、金銭的な問題の場合は奨学金担当による説明も実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		動植物専門課程	生命科学科 トレーニングケアゼミ	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,232単位時間/単位	648 単位時間/ 単位	72 単位時間/ 単位	432 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位
			1,152単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
600人の内数		18人	0人	3人	8人	11人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 【作成方法】 各授業科目について毎年度、生命科学科の学内会議の中で授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各授業を担当する教員が、シラバスの作成を行っている。 シラバスには授業科目名、単位数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載する。学内統一様式でシラバス作成を行っている。 【作成・公開時期】 翌年度の講義予定は1月～2月に担当教員が作成し、3月の学内会議で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。その後、3月下旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。
成績評価の基準・方法
(概要) 学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各コース・ゼミで定める授業科目の試験(筆記試験、実技試験、レポート)により成績評価を行っている。成績評価に関しては、各科目 100 点満点とし、学科試験(80

%)と出席状況(20%)を鑑み、教科ごとに総合的に評価する。評価基準はA:100-90点、B:89-80点、C:79-70点、D:69-60点、E:59点以下とし、「D」以上を合格とする。  
 Eは再試験を実施し、60点以上の成績を収めた場合、評価は「D」なり、単位取得となる。なお、再試験で60点未満の場合は、単位認定課題の対象となる。単位認定課題を実施し、所定の成績を収めたものには評価「D」として単位を付与する。  
 なお、学生の出席率が85%以下の場合は個別指導を実施し、出席率を85%以上に補填したうえで、試験を実施する。これに該当した学生の評価も、一律「D」となる。  
 上記の規定は学生便覧として学生に配布・周知しており、科目ごとの成績評価の方法・基準は公開しているシラバスにも記載されている。

**卒業・進級の認定基準**  
 (概要)  
 神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を中学校における教育の基礎の上に工業高等課程を設置し、「動物にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この基本理念に基づき、豊かな人間性や動物倫理観、社会性を育成することが本学の教育目標であり、下記に示す資質および技能を修得していることを卒業の条件とする。  
 1. 専門分野の基本的な知識・技術を習得し、科学的な動物や環境の倫理観を有す。  
 2. 自律的に思考し、物事に取り組むための自己管理能力を身につけている。  
 3. 論理的思考力と自己表現力を身につけており、柔軟なコミュニケーションができる。  
 本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与し、バイオ学科及び生命科学科の修了者には専門士(工業専門課程)の称号を与える。詳細については、学則細目、学生生活の手引き等に記載している。

**学修支援等**  
 (概要)  
 担当制により月毎に個別面談を行うことで、適性を把握し、就職指導を実施している。また、研修旅行や特別講義、インターンを通じて業界人との交流や現場を在学中に積極的に経験させることで、学生の将来到達すべき人材を理解させるよう教育指導を行っている。また、目指す業界で必要とされる資格を計画的に取得ができるよう取り組ませている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	26人 (80.8%)	10人 (19.2%)
(主な就職、業界等) 動植物業界(動物保護施設 シッター 他) ペットショップ 動物介在活動施設 高齢者ケアホーム ペット			

(就職指導内容) 1年次前期から学生指導を通じて求人票、就職受験記録などを閲覧し就職に取り組む姿勢などを学んでいる。授業のうち座学では面接対策、ES・履歴書作成指導を行い、実技では現場で必要なスキルを身につけさせている。クラス担当・キャリアサポートとで学生面談を行い就職したい企業、希望職種などのヒアリングを行い、学生の希望、適性に沿った就職指導を行っている。
(主な学修成果(資格・検定等)) 愛玩動物飼養管理士 サービス接遇検定 ホリスティックケア・カウンセラー アロマセラピー検定 ベーシックマスターライセンス 他
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学期の最初の段階で面談を行い、休み等が重なる場合に面談等を実施。また、金銭的な問題の場合は奨学金担当による説明も実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		動植物専門課程	生命科学科 シヨップゼミ	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		2,232単位時間/単位	612 単位時間/ 単位	288 単位時間/ 単位	252 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位
			1,152単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
600人の内数		12人	0人	5人	10人	15人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 【作成方法】 各授業科目について毎年度、生命科学科の学内会議の中で授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各授業を担当する教員が、シラバスの作成を行っている。 シラバスには授業科目名、単位数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載する。学内統一様式でシラバス作成を行っている。 【作成・公開時期】

<p>翌年度の講義予定は1月～2月に担当教員が作成し、3月の学内会議で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。その後、3月下旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。</p>			
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各コース・ゼミで定める授業科目の試験(筆記試験、実技試験、レポート)により成績評価を行っている。成績評価に関しては、各科目100点満点とし、学科試験(80%)と出席状況(20%)を鑑み、教科ごとに総合的に評価する。評価基準はA:100-90点、B:89-80点、C:79-70点、D:69-60点、E:59点以下とし、「D」以上を合格とする。</p> <p>Eは再試験を実施し、60点以上の成績を収めた場合、評価は「D」なり、単位取得となる。なお、再試験で60点未満の場合は、単位認定課題の対象となる。単位認定課題を実施し、所定の成績を収めたものには評価「D」として単位を付与する。</p> <p>なお、学生の出席率が85%以下の場合は個別指導を実施し、出席率を85%以上に補填したうえで、試験を実施する。これに該当した学生の評価も、一律「D」となる。上記の規定は学生便覧として学生に配布・周知しており、科目ごとの成績評価の方法・基準は公開しているシラバスにも記載されている。</p>			
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を中学校における教育の基礎の上に工業高等課程を設置し、「動物にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この基本理念に基づき、豊かな人間性や動物倫理観、社会性を育成することが本学の教育目標であり、下記に示す資質および技能を修得していることを卒業の条件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門分野の基本的な知識・技術を習得し、科学的な動物や環境の倫理観を有す。</li> <li>2. 自律的に思考し、物事に取り組むための自己管理能力を身につけている。</li> <li>3. 論理的思考力と自己表現力を身につけており、柔軟なコミュニケーションができる。</li> </ol> <p>本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与し、バイオ学科及び生命科学科の修了者には専門士(工業専門課程)の称号を与える。詳細については、学則細目、学生生活の手引き等に記載している。</p>			
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>担当制により月毎に個別面談を行うことで、適性を把握し、就職指導を実施している。また、研修旅行や特別講義、インターンを通じて業界人との交流や現場を在学中に積極的に経験させることで、学生の将来到達すべき人材を理解させるよう教育指導を行っている。また、目指す業界で必要とされる資格を計画的に取得ができるよう取りまとめている。</p>			
<p>卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)</p>			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (83.3%)	2人 (16.7%)
(主な就職、業界等) 動植物業界(ペットショップ ペットホテル ペット用品・生体卸問屋 ペットシッター 動物病院 他)			
(就職指導内容) 1年次前期から学生指導を通じて求人票、就職受験記録などを閲覧し就職に取り組む姿勢などを学んでいる。授業のうち座学では面接対策、ES・履歴書作成指導を行い、実技では現場で必要なスキルを身につけさせている。クラス担当・キャリアサポートとで学生面談を行い就職したい企業、希望職種などのヒアリングを行い、学生の希望、適性に沿った就職指導を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 愛玩動物飼養管理士 サービス接遇検定 損害保険募集人資格 ホリスティックケア・カウンセラー ベーシックマスターライセンス 潜水士 ダイビングライセンス 他			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学期の最初の段階で面談を行い、休み等が重なる場合に面談等を実施。また、金銭的な問題の場合は奨学金担当による説明も実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業分野	動植物専門課程	生命科学科 水族館ゼミ	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,232単位時間/単位	540 単位時間/ 単位	432 単位時間/ 単位	180 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位
			1,152単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
600人の内数	53人	0人	7人	5人	12人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 【作成方法】

<p>各授業科目について毎年度、生命科学科の学内会議の中で授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各授業を担当する教員が、シラバスの作成を行っている。</p> <p>シラバスには授業科目名、単位数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画（各回の授業プラン）、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載する。学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p><b>【作成・公開時期】</b></p> <p>翌年度の講義予定は1月～2月に担当教員が作成し、3月の学内会議で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。その後、3月下旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。</p>
<p><b>成績評価の基準・方法</b></p> <p>（概要）</p> <p>学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各コース・ゼミで定める授業科目の試験（筆記試験、実技試験、レポート）により成績評価を行っている。成績評価に関しては、各科目100点満点とし、学科試験（80%）と出席状況（20%）を鑑み、教科ごとに総合的に評価する。評価基準はA：100-90点、B：89-80点、C：79-70点、D：69-60点、E：59点以下とし、「D」以上を合格とする。</p> <p>Eは再試験を実施し、60点以上の成績を取めた場合、評価は「D」なり、単位取得となる。なお、再試験で60点未満の場合は、単位認定課題の対象となる。単位認定課題を実施し、所定の成績を取めたものには評価「D」として単位を付与する。</p> <p>なお、学生の出席率が85%以下の場合は個別指導を実施し、出席率を85%以上に補填したうえで、試験を実施する。これに該当した学生の評価も、一律「D」となる。上記の規定は学生便覧として学生に配布・周知しており、科目ごとの成績評価の方法・基準は公開しているシラバスにも記載されている。</p>
<p><b>卒業・進級の認定基準</b></p> <p>（概要）</p> <p>神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を中学校における教育の基礎の上に工業高等課程を設置し、「動物にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この基本理念に基づき、豊かな人間性や動物倫理観、社会性を育成することが本学の教育目標であり、下記に示す資質および技能を修得していることを卒業の条件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門分野の基本的な知識・技術を習得し、科学的な動物や環境の倫理観を有す。</li> <li>2. 自律的に思考し、物事に取り組むための自己管理能力を身につけている。</li> <li>3. 論理的思考力と自己表現力を身につけており、柔軟なコミュニケーションができる。</li> </ol> <p>本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与し、バイオ学科及び生命科学科の修了者には専門士（工業専門課程）の称号を与える。詳細については、学則細目、学生生活の手引き等に記載している。</p>
<p><b>学修支援等</b></p> <p>（概要）</p> <p>担当制により月毎に個別面談を行うことで、適性を把握し、就職指導を実施している。また、研修旅行や特別講義、インターンを通じて業界人との交流や現場を在学中に積極的に経験させることで、学生の将来到達すべき人材を理解させるよう教育指導を行っている。また、目指す業界で必要とされる資格を計画的に取得ができるよう取り組ませている。</p>

--

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
54人 (100%)	0人 ( 0%)	46人 ( 85.2%)	8人 ( 14.8%)
(主な就職、業界等) 動植物業界(水族館飼育スタッフ ふれあい施設スタッフ 水産業 ダイビングガイド ペットショップ 他)、一般企業(警備員、軽作業)			
(就職指導内容) 1年次前期から学生指導を通じて求人票、就職受験記録などを閲覧し就職に取り組む姿勢などを学んでいる。授業のうち座学では面接対策、ES・履歴書作成指導を行い、実技では現場で必要なスキルを身につけさせている。クラス担当・キャリアサポートとで学生面談を行い就職したい企業、希望職種などのヒアリングを行い、学生の希望、適性に沿った就職指導を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 潜水士 ダイビングライセンス 他			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学期の最初の段階で面談を行い、休み等が重なる場合に面談等を実施。また、金銭的な問題の場合は奨学金担当による説明も実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業分野	動植物専門課程	生命科学科 動物園ゼミ	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,232単位時間／単位	612 単位時間/ 単位	324 単位時間/ 単位	216 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位
			1,152単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
600人の内数	50人	0人	5人	10人	15人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>【作成方法】 各授業科目について毎年度、生命科学科の学内会議の中で授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各授業を担当する教員が、シラバスの作成を行っている。</p> <p>シラバスには授業科目名、単位数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載する。学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p>【作成・公開時期】 翌年度の講義予定は1月～2月に担当教員が作成し、3月の学内会議で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。その後、3月下旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要) 学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各コース・ゼミで定める授業科目の試験(筆記試験、実技試験、レポート)により成績評価を行っている。成績評価に関しては、各科目100点満点とし、学科試験(80%)と出席状況(20%)を鑑み、教科ごとに総合的に評価する。評価基準はA:100-90点、B:89-80点、C:79-70点、D:69-60点、E:59点以下とし、「D」以上を合格とする。</p> <p>Eは再試験を実施し、60点以上の成績を収めた場合、評価は「D」なり、単位取得となる。なお、再試験で60点未満の場合は、単位認定課題の対象となる。単位認定課題を実施し、所定の成績を収めたものには評価「D」として単位を付与する。</p> <p>なお、学生の出席率が85%以下の場合は個別指導を実施し、出席率を85%以上に補填したうえで、試験を実施する。これに該当した学生の評価も、一律「D」となる。上記の規定は学生便覧として学生に配布・周知しており、科目ごとの成績評価の方法・基準は公開しているシラバスにも記載されている。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を中学校における教育の基礎の上に工業高等課程を設置し、「動物にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この基本理念に基づき、豊かな人間性や動物倫理観、社会性を育成することが本学の教育目標であり、下記に示す資質および技能を修得していることを卒業の条件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門分野の基本的な知識・技術を習得し、科学的な動物や環境の倫理観を有す。</li> <li>2. 自律的に思考し、物事に取り組むための自己管理能力を身につけている。</li> </ol>

<p>3. 論理的思考力と自己表現力を身につけており、柔軟なコミュニケーションができる。</p> <p>本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与し、バイオ学科及び生命科学科の修了者には専門士（工業専門課程）の称号を与える。詳細については、学則細目、学生生活の手引き等に記載している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>担当制により月毎に個別面談を行うことで、適性を把握し、就職指導を実施している。また、研修旅行や特別講義、インターンを通じて業界人との交流や現場を在学中に積極的に経験させることで、学生の将来到達すべき人材を理解させるよう教育指導を行っている。また、目指す業界で必要とされる資格を計画的に取得ができるよう取り組ませている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
51人 (98.1%)	2人 ( 3.9%)	48人 (94.1%)	1人 ( 2.0%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>動植物業界(動物園 サファリパーク 乗馬クラブ ふれあい施設 移動動物園 観光牧場 生産牧場 他)</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>1年次前期から学生指導を通じて求人票、就職受験記録などを閲覧し就職に取り組む姿勢などを学んでいる。授業のうち座学では面接対策、ES・履歴書作成指導を行い、実技では現場で必要なスキルを身につけさせている。クラス担当・キャリアサポートとで学生面談を行い就職したい企業、希望職種などのヒアリングを行い、学生の希望、適性に沿った就職指導を行っている。</p>			
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>愛玩動物飼養管理士 生物分類技能検定 ECO検定 他</p>			
<p>(備考)(任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52人	1人	1.9%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>加療</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学期の最初の段階で面談を行い、休み等が重なる場合に面談等を実施。また、金銭的な問題の場合は奨学金担当による説明も実施。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		動植物専門課程	生命科学科 野生生物ゼミ	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,232単位時間／単位	648 単位時間/ 単位	324 単位時間/ 単位	144 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位
			1,152単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
600人の内数		11人	0人	5人	6人	11人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>【作成方法】</p> <p>各授業科目について毎年度、生命科学科の学内会議の中で授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各授業を担当する教員が、シラバスの作成を行っている。</p> <p>シラバスには授業科目名、単位数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画（各回の授業プラン）、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載する。学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p>【作成・公開時期】</p> <p>翌年度の講義予定は1月～2月に担当教員が作成し、3月の学内会議で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。その後、3月下旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各コース・ゼミで定める授業科目の試験（筆記試験、実技試験、レポート）により成績評価を行っている。成績評価に関しては、各科目 100 点満点とし、学科試験（80％）と出席状況（20％）を鑑み、教科ごとに総合的に評価する。評価基準はA：100-90点、B：89-80点、C：79-70点、D：69-60点、E：59点以下とし、「D」以上を合格とする。</p> <p>Eは再試験を実施し、60点以上の成績を収めた場合、評価は「D」なり、単位取得となる。なお、再試験で60点未満の場合は、単位認定課題の対象となる。単位認定課題を実施し、所定の成績を収めたものには評価「D」として単位を付与する。</p> <p>なお、学生の出席率が85％以下の場合は個別指導を実施し、出席率を85％以上に補填したうえで、試験を実施する。これに該当した学生の評価も、一律「D」となる。上記の規定は学生便覧として学生に配布・周知しており、科目ごとの成績評価の方法・基準は公開しているシラバスにも記載されている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を中学校における教育の基礎の上に工業高等課程を設置し、「動物にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この基本理念に基づき、豊かな人間性や動物倫理観、社会性</p>

<p>を育成することが本学の教育目標であり、下記に示す資質および技能を修得していることを卒業の条件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門分野の基本的な知識・技術を習得し、科学的な動物や環境の倫理観を有す。</li> <li>2. 自律的に思考し、物事に取り組むための自己管理能力を身につけている。</li> <li>3. 論理的思考力と自己表現力を身につけており、柔軟なコミュニケーションができる。</li> </ol> <p>本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与し、バイオ学科及び生命科学科の修了者には専門士（工業専門課程）の称号を与える。詳細については、学則細目、学生生活の手引き等に記載している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>担当制により月毎に個別面談を行うことで、適性を把握し、就職指導を実施している。また、研修旅行や特別講義、インターンを通じて業界人との交流や現場を在学中に積極的に経験させることで、学生の将来到達すべき人材を理解させるよう教育指導を行っている。また、目指す業界で必要とされる資格を計画的に取得ができるよう取り組ませている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	0人 ( 0%)	19人 ( 86.4%)	3人 ( 13.6%)
(主な就職、業界等) 動植物業界(エコツアーガイド アウトドアインストラクター ネイチャーガイド 環境調査員 野生生物保護施設 他)、造園業			
(就職指導内容) 1年次前期から学生指導を通じて求人票、就職受験記録などを閲覧し就職に取り組む姿勢などを学んでいる。授業のうち座学では面接対策、ES・履歴書作成指導を行い、実技では現場で必要なスキルを身につけさせている。クラス担当・キャリアサポートとで学生面談を行い就職したい企業、希望職種などのヒアリングを行い、学生の希望、適性に沿った就職指導を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 愛玩動物飼養管理士 サービス接遇検定 損害保険募集人資格 ホリスティックケア・カウンセラー ベーシックマスターライセンス 生物分類技能検定 他			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

22人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学期の最初の段階で面談を行い、休み等が重なる場合に面談等を実施。また、金銭的な問題の場合は奨学金担当による説明も実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		動植物専門課程	生命科学科 トリミングマネジメントゼミ	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,232単位時間／単位	360 単位時間/ 単位	900 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位
			1,260単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
600人の内数		4人	0人	5人	10人	15人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>【作成方法】 各授業科目について毎年度、生命科学科の学内会議の中で授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各授業を担当する教員が、シラバスの作成を行っている。 シラバスには授業科目名、単位数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載する。学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p>【作成・公開時期】 翌年度の講義予定は1月～2月に担当教員が作成し、3月の学内会議で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。その後、3月下旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各コース・ゼミで定める授業科目の試験(筆記試験、実技試験、レポート)により成績評価を行っている。成績評価に関しては、各科目100点満点とし、学科試験(80%)と出席状況(20%)を鑑み、教科ごとに総合的に評価する。評価基準はA:100-90点、B:89-80点、C:79-70点、D:69-60点、E:59点以下とし、「D」以上を合格とする。 Eは再試験を実施し、60点以上の成績を収めた場合、評価は「D」なり、単位取得となる。なお、再試験で60点未満の場合は、単位認定課題の対象となる。単位認定課題を実施し、所定の成績を収めたものには評価「D」として単位を付与する。 なお、学生の出席率が85%以下の場合は個別指導を実施し、出席率を85%以上に補填したうえで、試験を実施する。これに該当した学生の評価も、一律「D」となる。</p>

上記の規定は学生便覧として学生に配布・周知しており、科目ごとの成績評価の方法・基準は公開しているシラバスにも記載されている。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を中学校における教育の基礎の上に工業高等課程を設置し、「動物にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この基本理念に基づき、豊かな人間性や動物倫理観、社会性を育成することが本学の教育目標であり、下記に示す資質および技能を修得していることを卒業の条件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門分野の基本的な知識・技術を習得し、科学的な動物や環境の倫理観を有す。</li> <li>2. 自律的に思考し、物事に取り組むための自己管理能力を身につけている。</li> <li>3. 論理的思考力と自己表現力を身につけており、柔軟なコミュニケーションができる。</li> </ol> <p>本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与し、バイオ学科及び生命科学科の修了者には専門士（工業専門課程）の称号を与える。詳細については、学則細目、学生生活の手引き等に記載している。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>担当制により月毎に個別面談を行うことで、適性を把握し、就職指導を実施している。また、研修旅行や特別講義、インターンを通じて業界人との交流や現場を在学中に積極的に経験させることで、学生の将来到達すべき人材を理解させるよう教育指導を行っている。また、目指す業界で必要とされる資格を計画的に取得ができるよう取り組ませている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 ( 0%)	5人 ( 71.4%)	2人 ( 28.6%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
1年次前期から学生指導を通じて求人票、就職受験記録などを閲覧し就職に取り組む姿勢などを学んでいる。授業のうち座学では面接対策、ES・履歴書作成指導を行い、実技では現場で必要なスキルを身につけさせている。クラス担当・キャリアサポートとで学生面談を行い就職したい企業、希望職種などのヒアリングを行い、学生の希望、適性に沿った就職指導を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
愛玩動物飼養管理士 サービス接遇検定 トリミングマスターライセンス ホリスティックケア・カウンセラー 日商簿記検定 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学期の最初の段階で面談を行い、休み等が重なる場合に面談等を実施。また、金銭的な問題の場合は奨学金担当による説明も実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業分野	動植物専門課程	動物看護師学科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,232単位時間／単位	2168 単位時間/ 単位	72 単位時間/ 単位	1230 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			3,470単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人の内数	79人	0人	6人	16人	22人		

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 動植物業界(動物病院 ペットシッター ペットショップ ふれあい施設 動物保護施設 他)			
(就職指導内容) 1年次前期から学生指導を通じて求人票、就職受験記録などを閲覧し就職に取り組む姿勢などを学んでいる。授業のうち座学では面接対策、ES・履歴書作成指導を行い、実技では現場で必要なスキルを身につけさせている。クラス担当・キャリアサポートとで学生面談を行い就職したい企業、希望職種などのヒアリングを行い、学生の希望、適性に沿った就職指導を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 愛玩動物看護師、愛玩動物飼養管理士 サービス接遇検定 ベーシックマスターライセンス ホリスティックケア・カウンセラー 日商簿記検定 他			
(備考)(任意記載事項) 2023年度より開講			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%

(中途退学の主な理由)
(中退防止・中退者支援のための取組) 学期の最初の段階で面談を行い、休み等が重なる場合に面談等を実施。また、金銭面的な問題の場合は奨学金担当による説明も実施。

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 【作成方法】 各授業科目について毎年度、動物看護師学科の学内会議の中で授業科目の設定・講義内容の検討を実施する。その検討結果にもとづき、各授業を担当する教員が、シラバスの作成を行っている。 シラバスには授業科目名、単位数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載する。学内統一様式でシラバス作成を行っている。 【作成・公開時期】 翌年度の講義予定は1月～2月に担当教員が作成し、3月の学内会議で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。その後、3月下旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。
成績評価の基準・方法
(概要) 学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各コース・ゼミで定める授業科目の試験(筆記試験、実技試験、レポート)により成績評価を行っている。成績評価に関しては、各科目100点満点とし、学科試験(80%)と出席状況(20%)を鑑み、教科ごとに総合的に評価する。評価基準はA:100-90点、B:89-80点、C:79-70点、D:69-60点、E:59点以下とし、「D」以上を合格とする。 Eは再試験を実施し、60点以上の成績を収めた場合、評価は「D」なり、単位取得となる。なお、再試験で60点未満の場合は、単位認定課題の対象となる。単位認定課題を実施し、所定の成績を収めたものには評価「D」として単位を付与する。 なお、学生の出席率が85%以下の場合には個別指導を実施し、出席率が85%以上に補填したうえで、試験を実施する。これに該当した学生の評価も、一律「D」となる。 上記の規定は学生便覧として学生に配布・周知しており、科目ごとの成績評価の方法・基準は公開しているシラバスにも記載されている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を中学校における教育の基礎の上に工業高等課程を設置し、「動物にやさしく、環境にやさしく、人にやさしい」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この基本理念に基づき、豊かな人間性や動物倫理観、社会性を育成することが本学の教育目標であり、下記に示す資質および技能を修得していることを卒業の条件とする。 1. 専門分野の基本的な知識・技術を習得し、科学的な動物や環境の倫理観を有す。 2. 自律的に思考し、物事に取り組むための自己管理能力を身につけている。

3. 論理的思考力と自己表現力を身につけており、柔軟なコミュニケーションができる。

本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与し、生命科学科の修了者には専門士（工業専門課程）の称号を与える。動物看護師学科の卒業生については、愛玩動物看護師受験資格の取得を申請し、さらに専門士の称号付与も申請する。詳細については、学則細目、学生生活の手引き等に記載している。

学修支援等

（概要）

担当制により月毎に個別面談を行うことで、適性を把握し、就職指導を実施している。また、研修旅行や特別講義、インターンを通じて業界人との交流や現場を在学中に積極的に経験させることで、学生の将来到達すべき人材を理解させるよう教育指導を行っている。また、目指す業界で必要とされる資格を計画的に取得ができるよう取り組ませている。

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
生命科 学科	150,000円	750,000円	750,000円	トックススペシャリストコース、ペットシッター 起業コース、トリミング起業コース、 スモールアニマルコース、アクアスペシャリスト コース、ワイルドアニマルコース
		750,000円	680,000円	トレーニングケアゼミ、ショップゼミ
		750,000円	800,000円	水族館ゼミ、動物園ゼミ、野生生 物ゼミ、トリミングゼミ、トリミングサロン起 業ゼミ
動物看 護師学 科	150,000円	750,000円	750,000円	1年生
		750,000円	680,000円	2年生
		750,000円	430,000円	3年生
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/">http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/</a>		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
学校関係者評価委員会(定数4名) 1. 神戸動植物環境専門学校 自己評価報告書に基づき、教職員の意見聴取及び学校施設等の視察を行う。 2. 学校が設定した評価項目(学校運営・教育活動・学習成果・財務等)の達成及び 取り組み状況を点検する。 3. 自己評価をもとに、その内容において分析・考察を行う。 4. 今後の課題と改善策を示し、教育活動・学校運営の質向上に役立てる 5. 委員は卒業生、企業関係者等から選出される。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公認会計士	2022/4/1～2024/3/31	企業
民間企業	2022/4/1～2024/3/31	企業
卒業生	2022/4/1～2024/3/31	卒業生
卒業生	2022/4/1～2024/3/31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.kap.ac.jp/">http://www.kap.ac.jp/</a>
第三者による学校評価(任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/">http://www.kap.ac.jp/information_disclosure/</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	神戸動植物環境専門学校
設置者名	学校法人神戸学園 理事長蔭

## 1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

	前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）	88人	87人	89人
内 訳	第Ⅰ区分	55人	55人
	第Ⅱ区分	19人	21人
	第Ⅲ区分	14人	11人
家計急変による支援対象者（年間）			0人
合計（年間）			89人
(備考)			

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

## 2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの 限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
		年間	前半期 後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	0人	0人	17人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	17人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。